

日本経済新聞

2018年
10月12日

金曜日

《埼玉・首都圏経済面》

ひびき、5000万円調達

武蔵野銀系ファンドから

店員らの作業負担を減らすことで人材の定着につなげる。

「やきとりチェーン運営 進ファンド」。地元企業 インターネットにつながるのひびき(埼玉県川越市) と連携し、温度管理の自 動化など店舗内の生産性 向上につながるシステム 導入するなど、店舗運営でも自動化や省力化のニーズは高い。従業員の仕事効率化に取組んでいる。飲食・サービス業は人手不足が深刻なため、

「工場だけでなく、店舗でも自動化や省力化のニーズは高い。従業員の働き方改革につなげたい」としている。

「むさしの地域創生推進ファンド」。地元企業 インターネットにつながるのひびき(埼玉県川越市) と連携し、温度管理の自 動化など店舗内の生産性 向上につながるシステム 導入するなど、店舗運営でも自動化や省力化のニーズは高い。従業員の仕事効率化に取組んでいる。飲食・サービス業は人手不足が深刻なため、

同社はあらゆるモノが

許諾番号30065509 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。
©日本経済新聞社 無断複製転載を禁じます。
日本経済新聞社は、記事内容により、特定の企業・団体や商品・サービスの購入・投資等を推奨するものではありません。